

2015年3月3日開催 第596回番組審議会

■ 出席委員

櫻井美幸委員長、佐藤友美子副委員長、上田理恵子委員、神谷徹委員、
小菅洋人委員、佐藤卓己委員、中野健二郎委員、東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長、松島専務、榎本専務、梅本常務、豊田取締役
赤阪コンプライアンス室長兼番組審議会事務局長
虫明ラジオ局長、西村編成局長

◆ 審議事項

MB Sの番組・放送全般について意見交換した。

【各委員の主な意見は次の通り】

- * 「映像'15 寄り添う」は、あえて結論を出そうとせずに淡々と日常取材をして、そこでの声を通して被災地のいろんな現状が伝わってくる。押しつけがましくなくてとてもいい。
- * 番組のホームページをこの時間帯の他局のものもしっかりウォッチしながら充実するのも、新番組に期待するところ。
主婦といっても一括りで専業主婦だけと考えずに、働いている人が出勤前とか、パートが休みの日に見るという視点も持った番組に。
- * 他局に比べて社員の人柄もいいし、社風には非常にシンパシーを感じる。一方で、個性の問題がついて回るのではないかと。MB Sは誰という顔がない。アナウンサーをはじめとする人材の育成、局の顔づくりが求められる。
- * 情報系番組では、とてもうまくベタな関西感が出ている。取材対象もそうだし、斬り口にも濃いローカル感を感じる。「プレバト!!」も、関西人がつくっているテイストを感じる。
- * 家族で楽しんでいる「プレバト!!」は、芸能人の才能を、斜に構えた形で見ている、人間の能力がいかにか相対的なものかよくわかって、教育的に意味のある番組だ。
- * コメンテーターの選び方が、気になる。自分のジャンル外でコメントすることが全国放送でも多く、やっぱりここが少し違和感を覚える。
- * 「魔法のレストラン」は、タレントがメインというよりは、関西の料理人に本当にフィーチャーしていて、応援番組としての意味がある。
- * 「ちちんぷいぷい」は、普通の人が出てくるところ、市民を映す身近なところがあって、地方のテレビのいいところだ。
- * 「ちちんぷいぷい」は、3時台からヤマヒロさんが出て、ちょっと雰囲気が変わるが、「VOICE」にまた西さんが出て、お昼の2時以降、夜までのあの時間帯が流れとしてつながっていると実感した。

*ネットや子どもたちがアクセスしやすいツールを上手に使って、テレビに誘導する。
そういうことが考えられないか。見る機会さえあればおもしろいものは見るんじゃないかと思う。

以上